



2021年3月11日

公益財団法人日本バスケットボール協会
2020年度 7-6月期 第9回理事会 報告

日時:2021年3月11日(木) 13:30~15:30

会場:ー (WEB会議)

【報告内容】

1. 3x3 基本規程の改定について
2. その他、報告事項

以上

1. 3x3 基本規程の改定について

JBA3x3公認オーガナイザー制度の撤廃等に伴う3x3基本規程の改定について、承認された。

<承認内容>

3x3基本規程の改定

1. JBA3x3公認オーガナイザー制度の撤廃に伴い、既存の規程の不必要・矛盾する内容の条文を削除
2. FIBA 3x3 Event Makerの利用に関する条文の追記
※FIBA 3x3 Event Maker = FIBAが推奨しているFIBA承認大会の構築システム
3. 2021年度の3x3選手登録料を無料とすることに伴う規定改定

※改定内容

第1章 第1条〔趣旨〕

第2条〔遵守義務〕

第2章 第4条〔定義〕

第3章 第12条〔定足数等〕

第13条〔3x3委員の議決権〕

第17条〔議事録〕

第19条〔組織及びメンバー〕

第4章 第26条〔禁止事項〕

第28条〔選手の肖像等の使用／広告宣伝活動〕

第29条〔選手との契約〕

第38条〔登録情報の管理〕

第39条〔外国籍選手の登録〕

第5章～第14章

※改定後の詳細については、JBA 公式サイト内の「各種規定」にてご確認ください。

【JBA 公式サイト URL】 <http://www.japanbasketball.jp/jba/kitei/>

2. その他、報告事項

(1) U18 カテゴリー登録・移籍運用細則について

JBA基本規程に基づき、U18カテゴリーにおける登録・移籍に関する運用細則を制定し、2021年4月1日より施行予定であることの報告がなされた。

<経緯>

- ・ 高体連部活動チーム以外に、BユースU18チーム及びクラブチーム登録が2018年以降開始され、JBA・PBA主催のリーグ戦整備が進められていることから、U18カテゴリーにおける運用細則制定の必要性が生じている。

<内容>

- ・ JBA基本規程に基づき制定している。
- ・ BユースU18チーム及びクラブチームにおいて、U15年代の選手登録は2名までとする。
- ・ 外国籍選手の登録及び出場について、大会要項に定める内容とする。

<今後>

- ・ 移籍の在り方についてはJBA基本規程に基づくものとしているが、継続的に協議していく。

※運用細則の詳細については、JBA 公式サイト内の「各種規定」にてご確認ください。

【JBA 公式サイト URL】 <http://www.japanbasketball.jp/jba/kitei/>

(2) 2021 インタープリテーション変更点について

2021年1月にFIBAが変更したインタープリテーション(ルールブックの解説部分)の変更部分を追加した【2020FIBAルール変更および2021インタープリテーション変更点サマリー 20210301】の全国への発信について、報告がなされた。

<特記事項>

1. 2020年9月10日JBA理事会にて、ルールに関して重要な変更点以外は事務総長決裁とすることを承認済のため、今回は報告とする。
2. 今回の変更内容は、ルール以外にも企画総括グループ競技運営セクションが管轄するユニフォーム規程にも関連するため、共同での報告とする。

※詳細については、JBA 公式サイト内の「2021 競技規則」にてご確認ください。

【JBA 公式サイト URL】 <http://www.japanbasketball.jp/referee/rule2021>

(3) ドイツバスケットボール連盟とのパートナーシップ締結について

2017年に締結したドイツバスケットボール連盟(インゴ・ワイス会長)とのパートナーシップの延長(2023年12月31日まで)について、報告がなされた。

過去4年間において、ドイツ連盟との関係は深まり、両協会の発展に貢献しているため、2023年12月31日までパートナーシップを延長。

<主な活動>

- ・ アルバートシュバイツァートーナメント出場(2018年)
- ・ 2019年東京オリンピックテストイベントにドイツ代表チーム(当時FIBAランキング22位)招聘
- ・ 審判派遣(2018シュバイツァートーナメント、2019ドイツスーパーカップ)

今後は下記の事業を基本として、バスケットボールの世界的発展に寄与する。

- ・ 代表チームのヨーロッパ活動拠点(3x3含む)
- ・ 代表/クラブチームによる交流試合
- ・ コーチ育成(海外研修、コーチクリニック参加等)
- ・ ユース世代の国際経験の機会提供
- ・ マーケティング/テクノロジーに関する情報共有
- ・ トップカテゴリー審判の育成
- ・ プロリーグの運営組織
- ・ 学校教育を含む、バスケットボールの普及に向けた協力
- ・ 関連部署間の交流

<特記事項>

同様に2018年にオーストラリア協会ともパートナーシップを締結しており、今月中に2023年まで延長の発表を行う予定で調整中。

以上